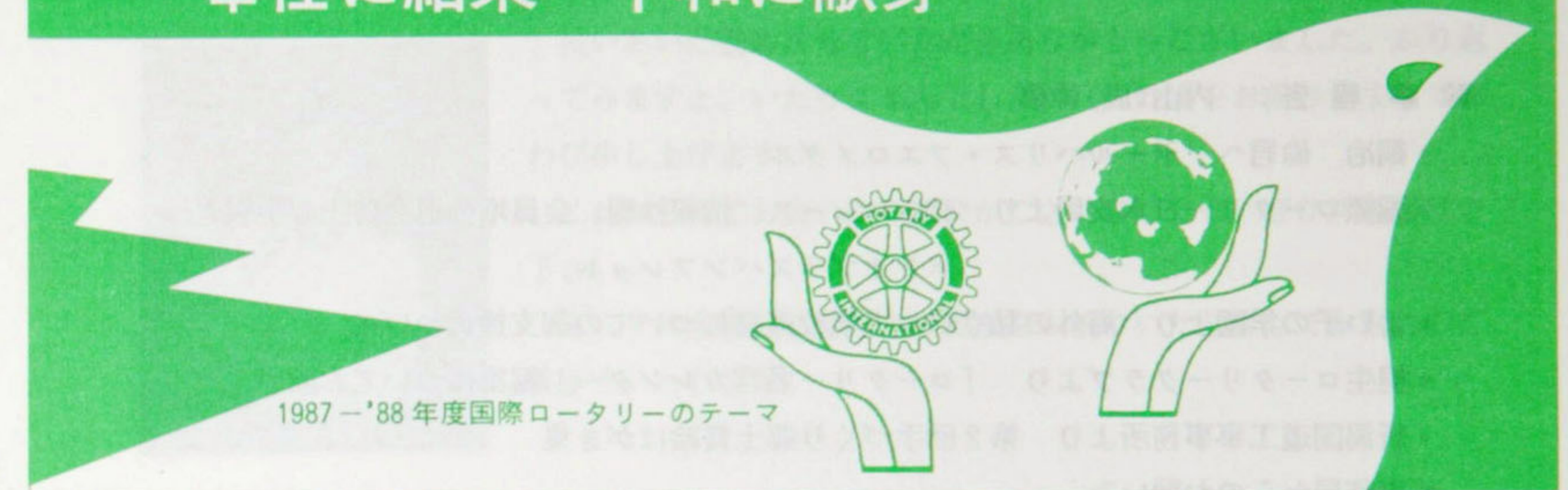


ロータリアン—— 奉仕に結束—平和に献身

ROTARIANS—
UNITED IN SERVICE—DEDICATED TO PEACE



1987-'88年度国際ロータリーのテーマ

- 国際ロータリー会長 チャールズ C. ケラー ● 第256地区ガバナー 安藤文夫
- 会長 — 熊倉 昌平 ● 幹事 — 内山 辰策 ● SAA — 川又嘉瑞範、婦山忠家
- 例会日 — 毎週水曜日12:30~ ● 例会場 — 三条市旭町2-5-10 三条信用金庫本店内
- 事務局 — 三条市旭町2-5-10 (TEL-35-3477) (TEL34-3311)
- クラブ会報委員 — 加藤紋次郎、平原信行、池田俊一、箱崎源伸、渡辺喜彦

出席率： 会員 63名中 51名 : 先々週出席率： 81.25% (前年同期92.54%)
 今日のお花： トルコ桔梗
 ヴィジター： 三条南より 田中久作君、石田行雄君、橋本和雄君、相場三郎君
 三条北より 村山誠一君、本間建雄美君
 ゲスト： 三水会会長 六原鉄五郎殿、加茂ロータリー 藤田英輔殿
 先週のメイクアップ： 7/23 加茂へ 吉田 晃君 7/24 燕へ 吉井俊介君
 7/27 三条南へ 藤田紘一君
 7/28 三条北へ 中川由春君、吉田 晃君 堀川政雄君、小林英雄君
 石橋育於君

会長挨拶： 熊倉会長

先週、会員の渡辺俊雄さんが亡くなられ愕然としました。三高時代、バレーボール部で素晴らしい活躍をし、三高バレー部の黄金時代をつくり、全国のベストナインに選ばれた名選手でした。明大卒業後、教育委員会に奉職、そして社会体育関係で非常に貢献されてきたことは衆知の通りです。誠に残念なことです。

今日、岩井先生の奥様の葬儀がありました。

人生は、長くとも短かくとも、その終りの時には荘厳なものを感じます。黙禱を捧げたいと思います。



安藤ガバナーに記念品贈呈



三条クラブ会員
渡辺宏策会員の踊り



新事務局員も参加
左から北クラブ、南クラブ、三条クラブ



三条クラブ、北クラブ共になごやかに



安藤ガバナー三条クラブ公式訪問



クラブ協議会

次週例会 8月5日 ガバナー慰労会

次々週例会 8月12日 卓話

幹事報告： 内山(辰)幹事

- ローター友事務所より 全国インターアクトクラブ名簿
- 愛光会より 胎内やすらぎの家だより
- 湊守生氏より 著編「ロータリー、一口ばなし」(附ロータリーガイド)のご案内と内容見本小冊子
- (財)ロータリー米山記念奨学会より 61年度寄附納入明細書

ガバナー選出の30年をかえりみて

当時のガバナー候補選出委員会 委員長 金子左武郎君

三条にRCの設立を先ずお奨め下さったのは新潟クラブである。わざわざご来場されたのはガバナーの伊藤さまと鍵富清一郎氏であった。鍵富さんは私の長兄のつれあいとゆかり深い方であったので案内役をお引受け下さったようだ。

間近い長岡クラブからは事務的なご指導を頂いた。三条中学を卒業した私が次に行ったのは北海道の小樽であった。そこの校長が名古屋に転任され、鈴木宗資氏の師ともなられた。

その縁が延長されて、職場のかかわりをついにしているがロータリーという奉仕活動でも、鈴木氏の適切なお心入れを受けて三条クラブは順調な歩みを続け、遂に藤田氏をガバナーとして30周年をことうごことができたのは嬉しい。

会員名簿をめくると創立時の名が今も7名かぞえられる。発足は24名、簿外の2名を加えての9名は素晴らしい歩どまりといえよう。

御礼の挨拶

直前ガバナー 藤田 説量君

ガバナー事務所一同の慰労会を催して頂きありがとうございます。

皆様の御声援のおかげで大過なく任務を果すことが出来ました。ガバナーとしての評価は2年から3年後に定まるものだと思いますが、古い言葉に猿は木に登って尻の赤きをあらわすがありますが、力不足の私がガバナーをやらされたため恥をさらすことになりました。

三条クラブには以前から金子初代会長、鈴木初代幹事、故小出策郎先生等のガバナー候補の方々がおられますのに、皆さんがお断りになったために私が生贄にされたのであります。人材を指名して決まったガバナーが、今は古いクラブから誰かを出すことになって来ました。

私如きがガバナーを務めることが出来たとすれば、三条クラブの皆様がガバナーになることが出来るのであります。今後20年後などと言わずにどんどんガバナーを引受けて頂きますようお願い致します。

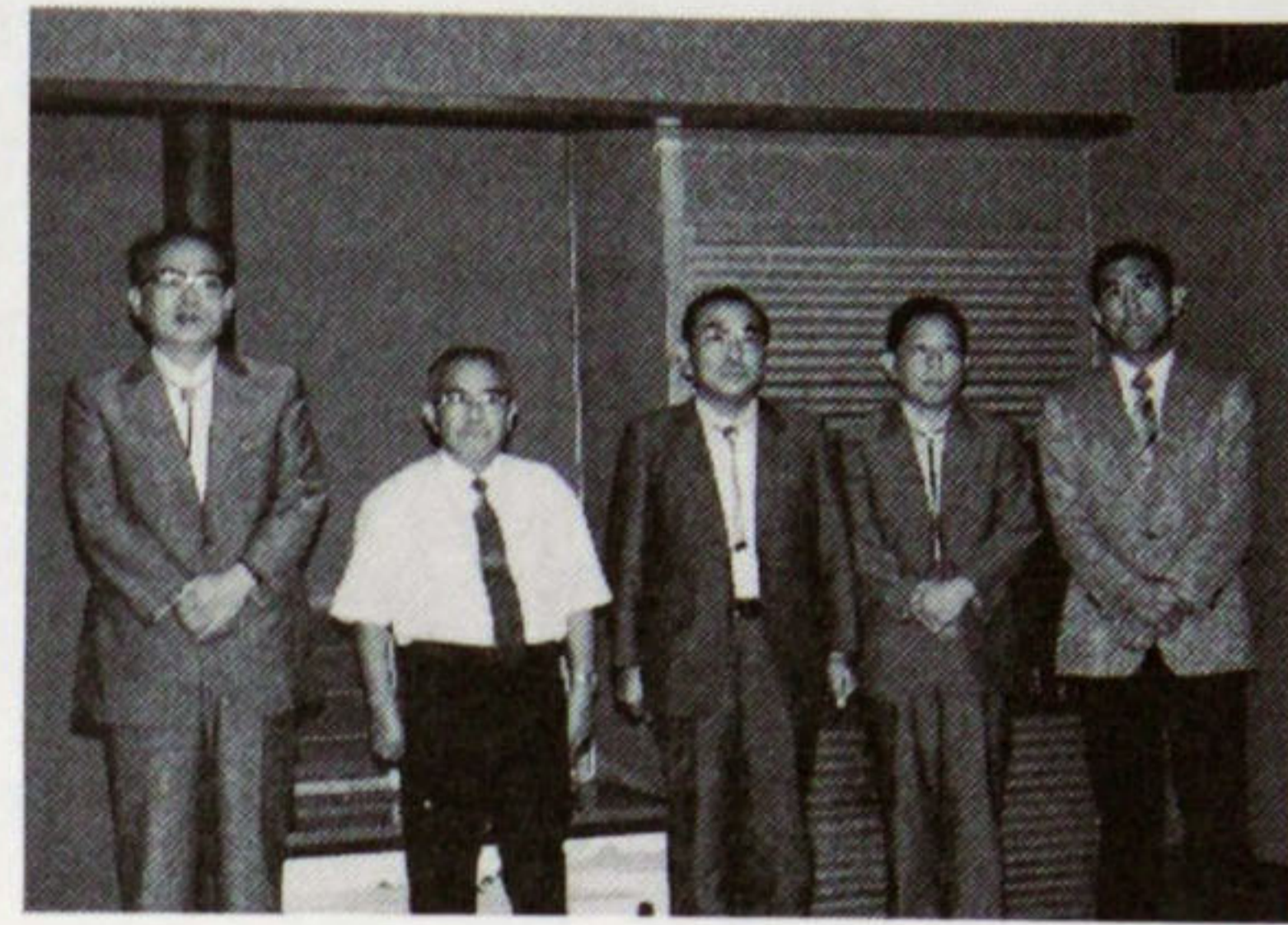
本日のお招きに心からお礼申し上げます。

御礼のご挨拶

地区幹事 山本 福七君

ガバナー事務所のスタッフを代表いたしまして一言ご挨拶を申し上げます。

本日は私共のために、慰労の宴を催して頂きまして誠に光栄でございます。厚く御礼申し上



げます。

顧みますと、今から2年前事務所を開いたときは、万事不案内で、海のものとも山のものとも見当のつかない不安や心配で一杯でした。無我夢中でこの2年間を過ごして来たように思います。終ってみますとあれもこれも懐しく思い出される次第でございます。

ここに並んでおりますスタッフの皆さんは

誠に所を得た一騎当千の方々に、本当に楽しく仕事をすることが出来ました。藤田ガバナーの許でこの2年間、滅多に経験することの出来ない良い仕事をさせて頂いたと喜んでおります。三条クラブの皆様には大変お世話になりました。ことに地区年次大会の際はクラブを挙げてバックアップして頂き本当に有難うございました。

今の事務所は8月29日に閉鎖をいたします。一言、ご報告と御礼を申し上げましてご挨拶いたします。

フォート・トピックス [ガバナー慰労会]



鈴木初代幹事の乾杯



懇親会

卓 話： 越乃三水と三水会の話

六原鉄五郎殿

ご紹介いただきました六原でございます。越乃三水、の宣伝に来たつもりでリラックスに話をさせていただきます。



私も商人でございますので、宣伝とあらばところかまわず来てしまうものでございます。この越乃三水を私共グループが開発し発売いたしましたわけでございますが、この辺の経過報告を話させていただきます。

いまの時期ですと冷たくして召上がると一番おいしくいただけるのではなからうかと思えます。

十五夜頃になりますれば、ぬる爛にしていればおいしく飲めるという私共の歌い文句でございます。この越乃三水をグループで開発し、5月に新発売にこぎつけたわけでございますが、幸い大きな話題になりまして、又、新聞、ラジオ、テレビなどにも取り上げていただきまして私共の見込み以上に売上げがのびているような状況でございますが、その開発にいたった話をさせていただきます。酒類業界の小売店も業界の活性化を図るため、自ら消費者の好みに合った酒造りに取り組んでみようではないかと、幸い新潟県には越の寒梅などという酒が全国的に有名になり、このような折にお客様に喜んでいただけるすばらしい商品を開発したらどうだということが発想のもとで取り組んだものでございますが、これを開発したグループというものが県央地域に於て営業活動をやりながら研究開発を目的とした20名の会を作り、この会の名前が三水会といい、三条地域の三と卸問屋の水田屋さんの水を取り三水会としている。

それから間もなく我々独自のオリジナル商品を開発したいと全員から提案があり、なにを手がけるかということで検討したわけですが、その折やはり何んといっても一番手近にあって開発できるものは、やはり今人気のある新潟県産清酒ではなからうかなということで始めたわけでございます。

酒を造るのは私共では造れないわけですが、いろいろとどうい酒にするかと検討して自分達の店で販売しているいろんな酒を持ちよって研究してきたわけで、会員の一致した意見はあっさりとしてのみあきしない、しかもどとおりのいいものをと注文をつけ最終的に決めたのが越乃三水の形であります。さあ、この酒をどこで造っていただくかということになり、開発部というものを作り、開発部の会員が県下の20数社の蔵元を視察して参ったわけでございます。

結論として、手造りの酒、昔ながらの手の作業で小さい蔵元を見つけて造っていただける蔵元として、塩沢町に高千代酒造という手づくりの小さな蔵元をさがしあて、ここがまた谷川連山から流れている地下水で造っている酒で、ここの社長、杜氏が酒造りにしか生きがいを感じていないというような人柄で、いろいろと話をした結果私共の要望を聞き入れてくれ、それからこの酒造りに入ったわけですが、私共も自信を持って発売にこぎつけたわけでございます。いか

んせんメーカーの力を借りるわけではなく、グループでもって宣伝もし販売しなくてはならないということで大きく広告する費用もなく、発売にあたってイベントと称して三条の中央公民館をお借りしましてお客様を招待申し上げまして試飲会を開催しました折、新聞、TVが取材に来ていただき、マスコミの力を借りて発売と同時に爆発的な人気をいただいているというのが現在の状況でございます。

時間をかけて吟味した酒ですので標示も手作りでなければならないということで、レッテルもコウゾウの100%の純日本和紙を製造しているところを尋ねまして、特別にオリジナル和紙をすいていただき、ラベルとし、文字は三条の書道家の真保さんに書いていただき、あくまでも中味とすべてが手作りということで大変ともかかっております。しかし、かといって高く売るわけにもいきませんので、1升瓶1本1,500円ということで、今ブームの本醸造の酒というのはむしろ安い価格になっております。越の寒梅と比べられても中味はけっしてひけをとらないと私は自身を持って言えます。

次年度の清酒が出来るのが4月になりますので、当初の予定が5,000本ということで契約させていただいておりますので、今年度分の酒が正月までになくなるいきおいで売れていますので、売れきれないように蔵元に製造をお願いしております。私共会員が20名おりますので、三水会の会員からお買求めいただければ幸いです。

「越乃三水」 本醸造二級

アルコール	15.5℃	掛 米	越路早生
麴 米	五百万本	仕込水	軟 水(硬度0.8)

フォート・トピックス



剣道の古城館ポリオプラス募金協力に感謝状贈呈